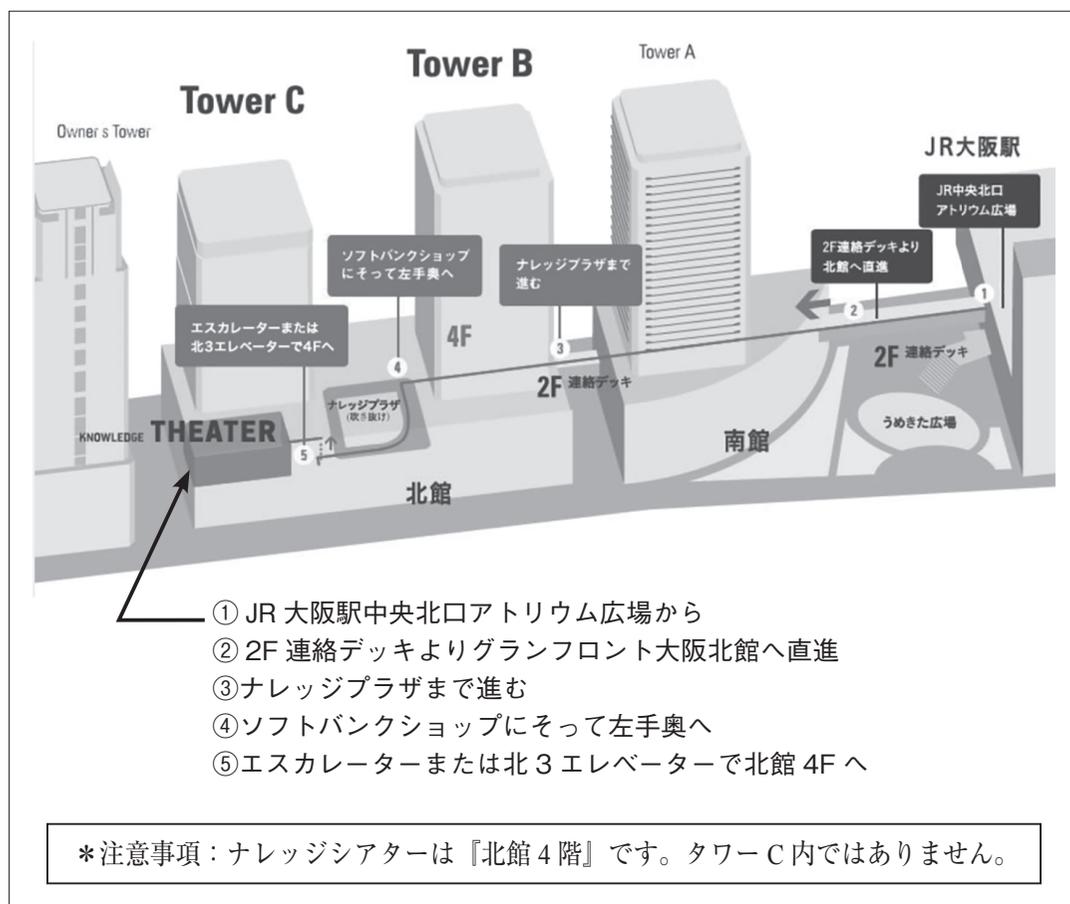


第 42 回 近畿川崎病研究会

日時：平成 30 年 3 月 3 日（土）
12：55～18：25

会場：グランフロント大阪 北館 4 階
ナレッジシアター
大阪市北区大深町 3-1



共催 近畿川崎病研究会
帝人ファーマ株式会社

—近畿川崎病研究会—

第42回 会長

白石 淳

運営委員長

鈴木 啓之

運営委員

池田 和幸	泉井 雅史	井上 智弘	内山 敬達
小澤誠一郎	片山 博視	鎌田 政博	河津由紀子
萱谷 太	城戸佐知子	小垣 滋豊	小林 奈歩
坂崎 尚徳	白石 淳	宗村 純平	津田 悦子
寺口 正之	土井 拓	中川 雅生	服部 益治
馬場 志郎	廣田 常夫	松村 正彦	丸谷 怜
三谷 義英	村上 洋介	山川 勝	山本 英一
吉澤 弘行	吉村 健		

特別顧問

川崎 富作

顧問

尾内善四郎 北村惣一郎 横山 達郎

名誉会員

上村 茂	川島 康生	清澤 伸幸	篠原 徹
鈴木 淳子	濱岡 建城	森 忠三	

事務局

和歌山県立医科大学 小児科

〒641-8509 和歌山市紀三井寺 811 番地 1

TEL 073-441-0633

ホームページ <http://www.kinki-kawasaki.jp/>

E-mail kkjim1981@kinki-kawasaki.jp

—お知らせとお願い—

1. ご参加の方へ

- (1) 開始時間は午後 12 時 55 分です。
- (2) 参加費は 1,000 円です。
なお、本会に未加入の方はご入会のほどお願いいたします。
(年会費は 3,000 円です)
- (3) 本会の日本小児循環器学会認定医研修単位は、8 単位となっています。

2. 演題発表について

- (1) ご講演は、PC プレゼンテーションのみとなります。タブレット PC, iPad などでの講演はできません。
- (2) 一般演題 発表 6 分・討論 4 分
- (3) ご発表予定時間の 1 時間前までに、USB メモリ（ご発表データのみを保存）を会場の「データ受付」にお持ちいただき、受付をお済ませください。
- (4) ご発表内容が動画を含む場合は、必ずご自身の PC 本体でデータをご持参ください。
 - ・会場で用意するコネクタの形状は D-sub15 ピンのみです。
 - ・AC アダプターは必ずお持ちください。
- (5) ご発表データは、Windows、Machintosh ともに PowerPoint で作成されたものをご用意ください。
- (6) 使用 OS（データ作成時）は以下のもので作成ください。
 - ・Windows : XP, Vista, Win-7, Win-8, Win-10
 - ・Machintosh : OSX
- (7) アプリケーションソフトは、以下のものをご用意いたします。
 - ・Windows : PowerPoint 2003, 2007, 2010, 2013, 2016 に対応
 - ・Machintosh : PowerPoint 2004, 2008, 2011 に対応
- (8) フォントは標準搭載されているものをご使用ください。
- (9) ファイル名は、プログラム No と演者のお名前を入れて作成ください。
 - ・例) 演題 No14、近畿太郎先生の場合 ファイル名：14 近畿.ppt
- (10) 講演終了後、舞台袖において、お預かりした USB メモリおよび PC 本体をご返却いたします。
- (11) 講演内容は、Progress in Medicine 7 月号（ライフ・サイエンス）に記録として掲載いたします。

※後日、ライフ・サイエンスから改めてご連絡いたします。

【執筆要領】 400 字原稿用紙で 12 枚以内（図表は別）

【原稿メ切】 2018 年 5 月 11 日（予定）

【問合せ先】 株式会社ライフ・サイエンス 工藤 陽

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-11-1 NMF 竹橋ビル 1 階

TEL 03-6811-0877

【開会の挨拶】 12:55 ~ 13:00

第42回会長 白石 淳（京都第一赤十字病院心臓センター 循環器内科）

【セッションI】 13:00 ~ 13:50

座長 馬場志郎（京都大学大学院医学研究科発生発達医学講座
発達小児科学）

1. 環軸椎回旋位固定を来した不全型川崎病の1例

滋賀医科大学医学部附属病院 小児科

井口貴文、宗村純平、古川央樹、星野真介、丸尾良浩

済生会滋賀県病院 小児科

松川幸弘

2. 亜急性期に関節炎を合併しリウマチ性疾患との鑑別を要した川崎病の2例

愛媛県立中央病院 小児科

安井沙耶、中野威史、山本英一、宇都宮秀和、石田也寸志

愛媛大学医学部 小児科

中野直子

3. IVIG 製剤（pH4 処理酸性ヒト免疫グロブリン）の血管外漏出後瘢痕
残存した川崎病症例

香川県立中央病院 小児科

岡本吉生、大平純也、住友裕美、植月元一、茂原研司、小林光郎、

森田啓督、佐藤 潤、伊藤 滋

4. 川崎病における末梢神経障害 ～11歳男児例を経験して～

広島市立広島市民病院 循環器小児科

岡本健吾、鎌田政博、中川直美、石口由希子、森藤祐次

同 神経小児科

小川和則

同 脳神経内科

石橋はるか

東広島医療センター 小児科

下田浩子

5. 川崎病を発症した血友病の男児の1例

市立豊中病院 小児科

平野翔堂、河津由紀子、野口真由子、鞍谷沙織、吉原千華、
渡辺陽和、吉川真紀子、徳永康行、茶山公祐

【セッションⅡ】 13:50 ~ 14:40

座長 池田和幸（京都府立医科大学大学院医学研究科 小児科学）

6. 川崎病と診断したがサイトカインプロファイルが若年性特発性関節炎との鑑別に有用であった2症例

社会医療法人真美会 中野こども病院

石井絃介、村上貴孝、岡府寺美、木野 稔

寺口小児科クリニック

寺口正之

関西医科大学 小児科

野田幸弘

7. 血漿交換＋メチルプレドニゾロンパルス療法同時施行により冠動脈病変進行を阻止できた川崎病の2例

広島市立広島市民病院 循環器小児科

森藤祐次、鎌田政博、中川直美、石口由希子、岡本健吾

8. IVIG 不応型川崎病の治療方針 —血漿交換療法の位置付け—

社会医療法人愛仁会 高槻病院 小児科・小児集中治療科

大西 聡、起塚 庸

同 小児集中治療科

土居ゆみ

同 小児科

石河慎也、山本和宏、橋村裕也、内山敬達、南 宏尚

9. 当院における IVIG 不応性川崎病に対する 3rd-Line 以降の治療法の変遷についての検討

兵庫県立尼崎総合医療センター 小児救急集中治療科

高原賢守、河内晋平、山上雄司、加藤隆宏、菅 健敬

10. IVIG 不応性川崎病におけるサイトカイン及び BNP と冠動脈病変との相関に関する検討

兵庫県立尼崎総合医療センター 小児救急集中治療科

高原賢守、河内晋平、山上雄司、加藤隆宏、菅 健敬

【セッションⅢ】 14:40 ~ 15:20

座長 城戸佐知子（兵庫県立こども病院 循環器内科）

11. 川崎病消化管炎症の意味と今後の展望

兵庫県予防医学協会・健診センター

富田安彦、山浦泰子、島屋真希、辻口理絵、村谷温子、深谷 隆

12. 当院における過去 5 年間の川崎病随伴症状の後方視的検討

川崎医科大学 小児科学

加藤 敦、若林尚子、小野佐保子、河野美奈、近藤英輔、齋藤亜紀、
田中悠平、寺西英人、田中孝明、大石智洋、宮田一平、松田純子、
大野直幹、中野貴司、寺田喜平、尾内一信

13. 当院における川崎病冠動脈病変の評価について

～厚生省川崎病研究班基準（1984）と Z-score との後方視的比較検討～

和歌山県立医科大学附属病院 小児科

鈴木崇之、垣本信幸、末永智浩、武内 崇、鈴木啓之

公立那賀病院 小児科

立花伸也

橋本市民病院 小児科

竹腰信人

紀南病院 小児科

渋田昌一

14. 当院における川崎病重症度評価の検討

京都第二赤十字病院 小児科

小林奈歩、清澤伸幸、喜多優介、加藤大吾、松岡太郎、渡辺幸典、
齋藤多恵子、浅井大介、東道公人、藤井法子、大前禎毅、長村敏生

コーヒープレイク 15：20 ～ 15：40

事務局報告 15：40 ～ 15：45

運営委員長 鈴木啓之（和歌山県立医科大学 小児科）

【セッションⅣ】 15：45 ～ 16：35

座長 片山博視（大阪医科大学附属病院 小児科）

15. 職場の検診を契機に川崎病による冠動脈障害、心筋障害が疑われた例

国立循環器病研究センター 心臓内科

青山大雪、米田秀一

同 小児循環器科

津田悦子

16. 川崎病の病歴を欠く冠動脈瘤・陳旧性心筋梗塞の一例

神戸市立医療センター中央市民病院 小児科

青田千恵、山川 勝、宮越千智

17. Dual-energy CT による川崎病冠動脈石灰化の経時的変化の検討

近畿大学医学部 小児科学教室

草野信義、丸谷 怜、篠原 徹、稲村 昇、竹村 司

18. 川崎病後遠隔期症例における Optical coherence tomography derived atherosclerosis-like coronary lesion 予測因子の検討

三重大学大学院医学系研究科 小児科学

大橋啓之、三谷義英、澤田博文、早川豪俊、平山雅浩

豊橋ハートセンター 循環器内科

寺島充康

三重大学大学院医学系研究科 放射線医学教室

佐久間肇、北川覚也

三重大学大学院医学系研究科 循環器・腎臓内科学

伊藤正明

19. 近畿地区における遠隔期川崎病症例についてのアンケート調査

京都府立医科大学 小児科

岡本亜希子、池田和幸、八幡倫代、鈴木千夏、細井 創

宇治徳洲会病院 小児循環器・川崎病センター

濱岡建城

【特別講演Ⅰ】 16:35 ~ 17:15

座長 小澤誠一郎（京都第一赤十字病院 小児科）

「成人期川崎病診療における内科医への期待と要望」

日本大学医学部 小児科学系 小児科学分野 准教授 鮎沢 衛 先生

【特別講演Ⅱ】 17:15 ~ 17:55

座長 白石 淳（京都第一赤十字病院心臓センター 循環器内科）

「循環器専門医が考える成人になった川崎病患者」

久留米大学病院 循環器病センター 教授 上野 高史 先生

【Discussion】 17：55 ～ 18：15

【閉会の挨拶】 18：15 ～ 18：25

第42回会長 白石 淳（京都第一赤十字病院心臓センター 循環器内科）

第43回会長 山川 勝（神戸市立医療センター中央市民病院
総合周産期センター）

近畿川崎病研究会会則

2016年4月改訂

1. 名称
近畿川崎病研究会（The Society of Kinki Area Kawasaki Disease Research）と称す。
2. 目的
川崎病の病因、病態、病理、治療及び管理等について、基礎及び臨床の両面から研究するとともに、学術集会を開催し、医学の発展に寄与する。
3. 事業
 - 1) 上記の目的を達成するために運営委員会を組織し、学術集会を年1回開催する（原則3月第1週土曜日開催とする）。その内容は、広く公表することを原則とする。
 - 2) 学術集会は参加費を徴収し、その運営に充てる。
4. 運営委員会
 - 1) 本会に次の役員を置く。
 - ①運営委員長 1名
 - ②運営委員 若干名
 - ③会計 1名
 - ④監事 1名
 - ⑤名誉会員
 - ⑥顧問
 - ⑦特別顧問
 - 2) 運営委員及び運営委員長は、運営委員会が推薦、選出する。
 - 3) 運営委員長は、本会を統括し、その任期は3年とする。なお、再任を妨げない。
 - 4) 運営委員は年齢の上限を満65歳とし、満65歳に達した年度末（3月）をもって退任とする。
 - 5) 年会費を3年間滞納した場合は、継続の意思がないとみなし退任とする。運営委員会・研究会に3年連続欠席の場合は、継続の意思の確認をもって退任とする。
 - 6) 運営委員会は、学術集会を主宰するための会長の選出を行う。会長の任期は1年とする。
 - 7) 運営委員会は、会長を補佐し、学術集会の企画、運営及び記録集の発行等を行う。また、本会運営に関する重要な事項を審議する。
 - 8) 会計及び監事は運営委員の中から推薦、選出し、任期を3年とする。
 - 9) 会計は運営委員会において前年度の会計報告を行う。
 - 10) 監事は本会の会計及び資産を監査する。
 - 11) 名誉会員は運営委員長が運営委員会に諮り推薦される。名誉会員は原則満65歳以上の運営委員を退任した者を対象とし、本会に特に貢献のあった者とする。
 - 12) 顧問は運営委員長が運営委員会に諮り名誉会員の中から会の運営上必要と認めた者とし、運営委員会に出席できる。
 - 13) 川崎病に関して広い知見をもつものを特別顧問としておく。特別顧問は、本会の運営等について助言をすることができ、任命は、運営委員長が運営委員会に諮り行うこととする。
5. 会員
 - 1) 本会に入会希望する者は氏名、住所、所属を明記し、本会事務局に申し込む。
 - 2) 退会しようとする者はその旨を本会に通知する。また、年会費を3年間滞納したときは退会したものとみなす。

6. 学術集会の発表者の制限
学術集会で発表できる者は本会の会員に限定する。特別講演など当番会長が承認した場合はこの限りではない。
7. 会計
 - 1) 本会の会計は年会費、参加費及びその他の収入をもって充て、会計年度は4月1日から翌年3月31日までとする。
 - 2) 年会費は3,000円／人、参加費は1,000円／人とする。
 - 3) 名誉会員、顧問および特別顧問は年会費を要しない。
8. 会則の変更
本会則は、運営委員会の議決を経て変更することができる。
9. 事務局
本会の事務局は運営委員長の所属施設に置くものとする。
和歌山県立医科大学 小児科
〒641-8509 和歌山市紀三井寺811番地1